

独立自強

# 自校教育のいま

「学生が本気で学び、社会で通用する力を身につける」こと。これは中央教育審議会が大学教育に求める根本的な課題の1つです。その「学生が本気で学ぶ場」を知るための自校教育は近年一層重要性を増し、多くの大学で、正課として「自校教育科目」が展開されるようになってきました。また、自校教育は、本学の教育目標の1つであり、現代において求められている教育の形でもあります。そうした自校教育のこれからを考えるために、自校教育の分野で先駆者の役割を果たしておられる立教学院・寺崎昌男氏と、全国の大学における自校教育の実態調査をし、積極的に推進しておられる岩手大学・大川一毅氏を講師としてお招きし、自校教育について理解を深め、自校教育のあり方や、今後の自校教育の方向性を探ります。

2012年12月8日(土) 13:30-16:10 (13:00開場)

入場無料

● 会場：追手門学院大学 学生会館 ● 定員：350名 ※申込み先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

基調講演

13:30~

「自校を知り、自分を見出し、未来を考える - 「自校教育」のすすめ -」

寺崎 昌男 氏 【立教学院本部調査役 / 東京大学・桜美林大学名誉教授 / 前・大学教育学会会長】  
高等教育のチャンスは広がり、大学は国境を超えるユニバーサルな制度になった。だが大学は学生諸君との間に生まれた具体的な関わりを抜きに「知」を拡散するだけでいいのだろうか。「ほかならぬこの大学にいる」という出会い、これから刻む数年の成長、友人たちとの得難い時間、そして地球規模に広がる視野—そうしたすべての働きを生かす「自校教育」の成果を語る。



実践報告

14:20~

「それぞれの大学で創るそれぞれの自校教育  
—全国大学実施状況調査をふまえて—」

大川 一毅 氏 【岩手大学准教授(評価室)】  
広がる自校教育について、全国大学実施状況調査から現況を報告する。ここでは各大学の特性に応じて工夫された特色ある取り組みも紹介したい。また、自校教育が「認証評価」でどう評価されているかの話題も提供する。



シンポジウム

15:10~

「自校教育のいま」

[パネリスト]  
寺崎 昌男 氏、大川 一毅 氏、梅村 修

実践報告

「建学の精神をかみしめる  
—追手門学院の自校教育—」

梅村 修 追手門学院大学 国際教養学部教授



申込み方法は3通り

※お申込み受付後、メールまたはハガキにて受講票をお送りします。当日ご持参ください。

- |   |          |   |
|---|----------|---|
| 1 | メールで申込み  | 右記メールアドレスに、必要事項をご記入の上、送信してください。▶ <a href="mailto:otemon1@waveltd.co.jp">otemon1@waveltd.co.jp</a> |
| 2 | FAXで申込み  | 裏面の受講申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX送信してください。▶ FAX : 06-6362-1221  |
| 3 | ケータイで申込み | 右記QRコードから、必要事項をご入力の上、送信してください。  |

[本講演会の事務代行]  
株式会社WAVE



## 出演者プロフィール

### 寺崎 昌男 氏



立大学院本部調査役／東京大学・桜美林大学  
名誉教授／前・大学教育学会会長

1932(昭和7)年福岡県出身。現在、立大学院本部調査役(教育改革担当)。東京大学・桜美林大学名誉教授、(公財)中央教育研究所理事長。日本近代大学史を専攻。立教大文学部・東大教育学部・桜美林大大学院教授等を経て2003年から現職。東大教育学部長・百年史編纂委員長、立教大全学共通カリキュラム運営センター部長、桜美林大学教育研究所長等を歴任。日本教育学会・大学教育学会元会長。公益財団法人秋山記念生命科学振興財団より「新渡戸・南原賞」を授与される。『大学改革その先を読む』『大学自らの総合力』(いずれも東信堂)など著書多数。

### 大川 一毅 氏



岩手大学准教授(評価室)

1960年、東京都生まれ。早稲田大学第一文学部教育学専攻卒業。同大学院文学研究科教育学専攻修士課程、同博士課程修了。早稲田大学人間科学部助手、秋田大学評価センター准教授を経て、現在岩手大学評価室准教授。専門領域は高等教育論、大学史、大学評価。共著に『大学の指導法—学生の自己発見のために—』(東信堂)、『IR実践ハンドブック 大学の意志決定支援』(玉川大学出版部)など。最近の論文では「国立大学における卒業生サービスの現況と課題」(広島大学高等教育研究開発センター「大学論集」第43集)、「自校教育の現況と今後の課題」(日本私立大学連盟「大学時報」第58巻)など。岩手大学では「大学の歴史と現在」、「初年次ゼミ『大学を学ぼう』」等の自校教育授業を担当。

### 梅村 修



追手門学院大学国際教養学部教授

1963年愛知県名古屋市生まれ。慶応義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。帝京大学専任講師、美術館学芸員等を経て、2003年4月より現職。追手門学院大学教育研究所長、追手門学院一貫連携教育機構長。専門は留学生教育、大学教育、広告論、談話研究ほか。共著に『アート・マーケティング』(白桃書房)、『キャラクター総論』(白桃書房)、『消費社会とマーケティング』(嵯峨野書院)、『地域ブランドと広告』(嵯峨野書院)、『大学を変える、学生が変わる』(ナカニシヤ出版)などがある。

## TIME SCHEDULE

### 第1部

13:30 基調講演

「自校を知り、自分を見出し、未来を考える—「自校教育」のすすめ—」

● 寺崎 昌男 氏

14:20 実践報告

「それぞれの大学で創るそれぞれの自校教育—全国大学実施状況調査をふまえて—」

● 大川 一毅 氏

### 第2部

15:10 シンポジウム

「自校教育のいま」

● 実践報告「建学の精神をかみしめる—追手門学院の自校教育—」:梅村 修

● 意見交換:寺崎 昌男 氏、大川 一毅 氏、梅村 修

## ACCESS

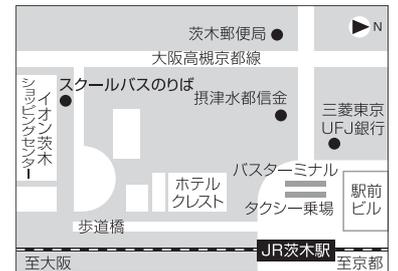
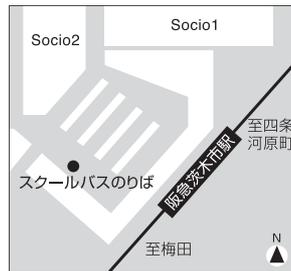
### スクールバス利用

阪急茨木市駅

西口から発車(11:50/12:30)

JR茨木駅イオン茨木ショッピング

センター横から発車(11:50/12:30)



※スクールバスはどなたでもご利用いただけます。

### 阪急バス利用

「JR茨木」から「追手門学院前」下車

(JR茨木駅前3番バス乗場 82・88 系統)(発車時刻11:40/12:45)

### お問い合わせ

追手門学院大学 大学創立50周年記念事業事務局  
〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15  
TEL:072-641-7441 / FAX:072-641-7442  
<http://www.otemon.ac.jp>

✂ きりとり線

## 「自校教育のいま」申込用紙

(受領後、受講に関するご案内をお送りします)

株式会社WAVE

お申込 ▶ FAX: 06-6362-1221

ふりがな		年齢	該当する所属に <input checked="" type="checkbox"/> を、( )内に○をしてください
氏名		才	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 在学生 <input type="checkbox"/> 卒業生(最終卒業学校 年卒) <input type="checkbox"/> 教職員 (幼稚園・小学校・大手前中学校・大手前高等学校・中学校・高等学校・大学・大学院) <input type="checkbox"/> 在学生家族 ↑ 在学生のご家族の方は在学生の所属に○をしてください
住所	〒 -	TEL	
		FAX	
		携帯電話	
		E-mail	

※ご応募いただいた個人情報については法令に従い安全かつ適正に管理し、受講登録手続き及びご本人への連絡、今後開催する講座、講演会のご案内にのみ使用させていただきます。